

専門職ができること ～15職種の紹介～

第1回 『医師』

在宅で、本人、家族の意向に伴走するために、あくまでも医療が生活を支配しないように気をつけています。

もちろん、状態変化の際に医学的なことはきちんと勘案したうえで、検査をするしない、病院にお願いするしないも含めて、何が本人にとって最善かを一緒に考えていくように努めています。病院でするような医療処置を在宅でするのが最善であれば、なんとかそれに応えるように努力します。

また、在宅医療に関わる職種の中で、訪問看護師、介護士、ケアマネジャーなどがメインに関わることになるので、医師の役割はチームが円滑に進むように邪魔をせず、いざというときは責任を取る姿勢でいることも大事ですね。

医師にしかできない仕事は、実は死亡診断書を記載することだけかもしれません。

ご回答していただいた方

道南在宅ケア研究会 幹事

医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院

副院長 総合診療科科長 かわぐち あつや 川口 篤也 様



専門職ができること ～15職種の紹介～

第2回 『看護師』

在宅で生活するなかで、医療や介護が必要になった場合に、気持ちに添ってお手伝いさせていただきます。

点滴や傷の処置、体に入っているチューブ類の管理など、皆様と一緒にいきます。

特に喜ばれているのは、24時間緊急時対応を行うということです。在宅へ戻ることを迷っている方にとっては、その対応が背中を押すことになるようです。

療養相談、助言等、いざとなれば緊急訪問して療養生活を支えます。医師、ケアマネジャー、その他の職種と連絡を良く取り合いながらすすめるので安心です。

生から死まで「自分らしく生きる」ための伴走者としてお手伝いできたなら幸いです。

ご回答していただいた方

道南訪問看護ステーション連絡協議会会長

訪問看護ステーション オハナ

代表 たかはた ともこ 高畑 智子 様

